



みみ

耳よい

# メール

国立病院機構 相模原病院 広報誌  
令和元年5月31日号  
発行：国立病院機構 相模原病院  
発行責任者：金田 悟郎  
住所：相模原市南区桜台18-1  
電話：042-742-8311 (代表)  
FAX：042-742-5314

第80号



▲ 弘前城公園の日本最古級といわれるソメイヨシノ

撮影：経営企画室 井上 浩嗣

## 第80号 目次

- ◆ 「認知症看護認定看護師の仕事」…………… 2
- ◆ 「放射線科CT室における造影検査への  
取り組み」… 3
- ◆ 「第8回登録医連絡協議会」…………… 6

### 連載 近隣協力医療施設の紹介コーナー

- 相模原市 南区  
「小児科内科 緒方医院」…………… 7
- 相模原市 南区  
「眼科 緒方医院」…………… 8



SAGAMIHARA  
NATIONAL  
HOSPITAL

私たちは患者の皆さまの  
人権を尊重し、  
十分な説明と同意に基づ  
き親切で心のこもった医  
療を提供します。

## 「認知症看護認定看護師の仕事」

認知症看護認定看護師 石川 里美

### 認知症看護認定看護師ってなに？

今回は「認知症看護認定看護師」の仕事について紹介します。認知症とは、一度正常に発達した脳が何らかの原因で働きが低下したり、脳細胞がダメージを受けたりして、認知機能が継続的に低下することで日常生活に様々な支障が出るようになった状態のことをいいます。

65歳以上の高齢者のうち5人に1人は認知症と言われていますが、年齢のせいと思い受診せずにご経過している方も多くいます。そのような方が肺炎や脱水などで入院されると、入院していることを忘れてしまい見知らぬ場所にいることに強い不安を感じたり、体調の悪さが原因となって脳がうまく働かない混乱状態(せん妄)になり、点滴を抜いてしまったり、足元を見ずにひとりで歩き転んでしまうなどの事故につながることもあります。

認知症看護認定看護師は、そのような認知症を持つ人に対し、環境の変化による混乱を軽減して混乱やせん妄をできる限り予防し、住み慣れた環境での生活にできるだけ早く戻れるよう、安全に、そして円滑に治療が受けられるよう病棟のスタッフと協力し支援をしていきます。

### どんな仕事をしているの？

私は、病棟にかかわらず入院した認知症のある患者さんに対し活動を行っています。認知症を持つ方は、時間や場所の感覚が不確かになり「間違っていないかな」「この後どうしたらいいのかな」と常に不安な気持ちがあります。入院中の経過などから認知機能の状態やせん妄の可能性を評価し、忘れやすいなら紙に書いて情報を残す、治療上やむを得ず身体の抑制をしている場合は少しでも解除の時間を作れるように提案し、少しでも患者さんの不安な気分を軽減できるように取り組んでいます。



▲ナースコール説明の張り紙

▼見当識支援用カレンダー



その他の活動として、精神科医師、薬剤師、栄養士、作業療法士、MSW で構成した認知症ケアチームで、患者さんの治療状況や体の具合を確認しながら、その人にあったケアや睡眠薬などの使用タイミングなどについて検討し、患者さんの苦痛や脳と体への負担を軽減できるよう支援をしています。他にも認知症の方への対応力向上を図るために、病院職員に向けた認知症ケアの勉強会の企画・開催を行っています。



▲入院患者様の経過を確認中（認知症ケアチーム回診）

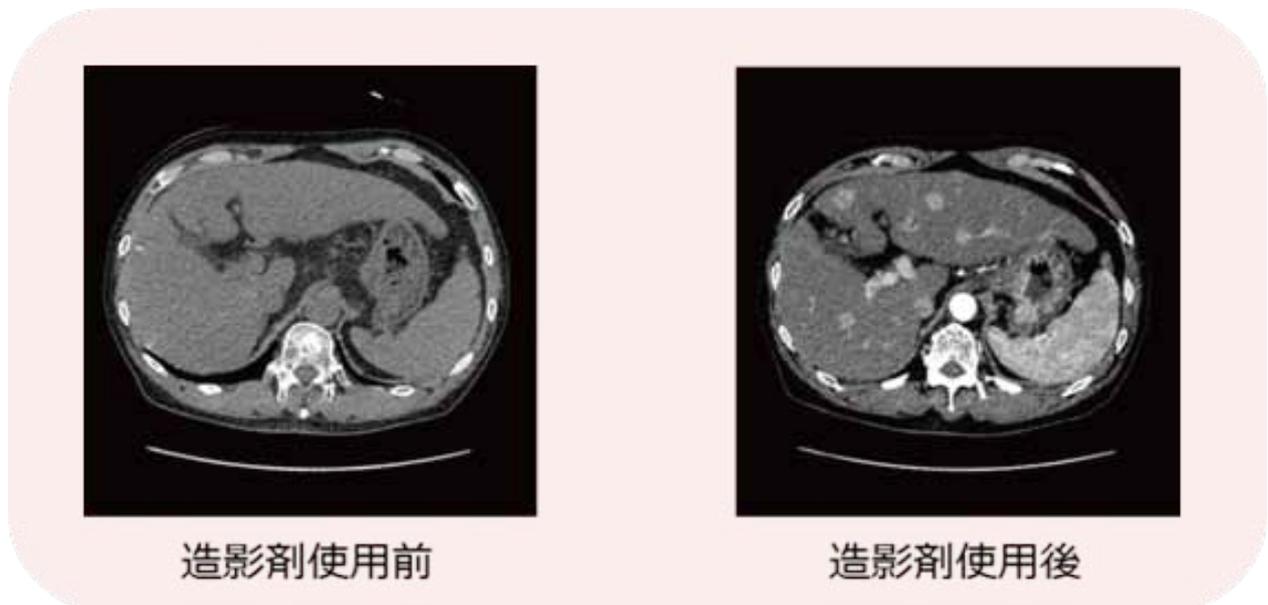
認知症の半数以上はアルツハイマー型認知症という認知症で、初期段階では年のせいなのか病気のせいなのか見分けることが難しい程度の症状から始まります。習慣にしていたことや趣味の活動をしなくなった、家に内服薬がたくさん余っている、財布にたくさん小銭が入っている、部屋がゴミだらけになったなど、ご家族だからこそ気付ける行動の変化もあります。認知症が進行すると、一人で生活が難しくなることも多いため、安全に生活できるよう地域や介護サービスの活用も必要になってきます。認知症を持つ方がその人らしく、住み慣れた場所で生活ができるように支援をしていきたいと思えます。認知症に関して気になる症状などがあれば、ぜひご相談いただければと思います。

## 放射線科CT 室における造影検査への取り組み

放射線科CT室 田中 剛志

### 造影検査とは

CT 検査で使用する造影剤は一般に水溶性ヨード造影剤が用いられます。通常腕の静脈より投与され、血管を介して全身の臓器へと分布します。この分布により各臓器の血流状態や病気の情報を得ることができます。もちろん、CT検査は造影剤を使用しなくても、検査の実施は可能ですが、病気の存在が分かりにくく正確な診断ができないことがあります。そのような場合に造影剤を使用することで、血管や血液の流れ、臓器の状態などから病気をよりわかりやすくすることができます。



〔図 1：造影剤の使用有無の画像〕

### 造影剤低減に対する当院の取り組み

CT 造影剤は腎機能が正常ならば、2時間で60%、6時間で80%、24時間でほぼ全量が尿中に排泄されます。腎機能が正常な場合、通常量での使用が推奨されています。

一方、腎機能障害のある患者様の場合は、造影剤腎症のリスクが高くなるため、造影剤量の低減が必要となりますが、通常のCT検査では造影剤量の減量に伴い造影剤分布の濃淡がつきづらくなってしまうます。当院のCT検査では、Dual Energy CT撮影法（GSI）を使用することで、造影剤減量によってつきづらくなってしまった造影剤分布の濃淡を増大させることを可能としています。腎機能障害の患者様など造影剤減量を必要とする場合は適時、放射線科医と相談しながらリスクとベネフィットを考慮した検査を実施しています。

## 造影剤副作用対応について

ヨード造影剤が投与されると、熱感や疼痛が起こることがあります。これは体内がバランスを保とうとするはたらきが作用し、どなたでも起こる可能性があります。

造影剤は安全なお薬ですが、使用後にまれに副作用が生じることがあります。使用後すぐに起きる場合と、数時間から数日経ってから発生する場合があります。その副作用は、吐き気・かゆみ・くしゃみ・発疹といった軽度のものから、きわめて稀に起こる血圧低下や呼吸低下などのショック症状に至るものまで様々です。

当院では、そういった副作用が現れたときを想定したトレーニングをCT室スタッフ(医師、看護師、放射線技師)で定期的に行っています。CT室には担当の放射線科医が常駐しているため、副作用以外の症状が生じたときにも、すぐに適切な処置が行えますのでご安心ください。(トレーニングの写真)



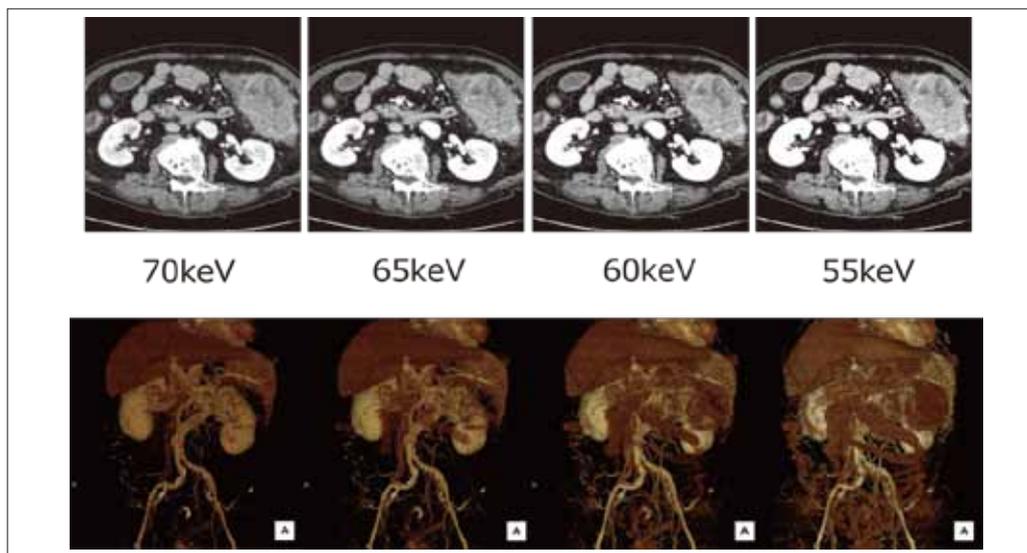
〔図2：造影剤副作用に対するシミュレーション研修〕

## 当院CT 特徴の紹介

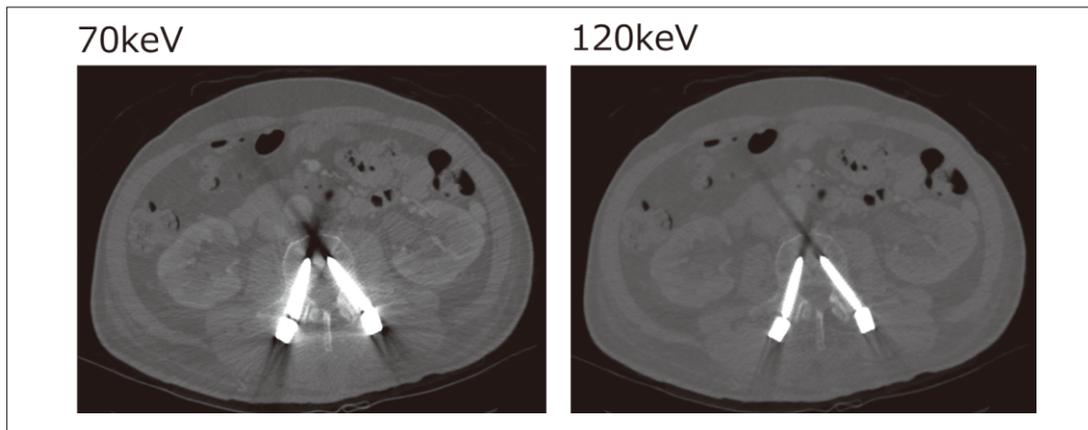
上記で少し紹介させて頂いた、Dual Energy CT撮影法であるGSIについて、もう少し紹介させて頂きます。

GSI撮影で新たに得られる画像は、大きく分けて2種類あります。

1つ目は仮想単色X線画像(Monochromatic image)です。仮想単色X線画像は40KeV~140KeVの間で任意のKeVにて計算上の単色X線画像が作成可能な技術であり、低KeV領域の画像は低いエネルギーを利用した画像濃淡の強調及びそれに伴う造影剤減量が可能で、高KeV領域の画像は高いエネルギーを利用した金属などの高吸収物質によるアーチファクト低減等のメリットがあります。

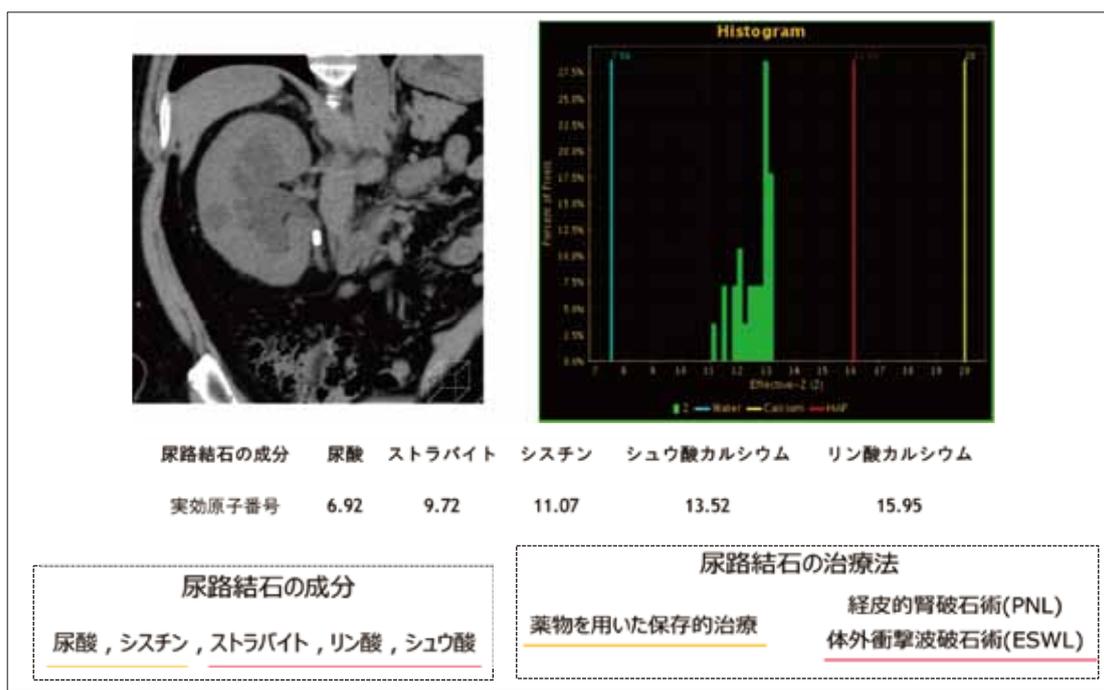


〔図3：仮想単色X線の低エネルギーを利用した血管コントラスト強調画像〕



〔図4：仮想単色X線の高エネルギーを利用した金属アーチファクト低減画像〕

2つ目は物質弁別画像(Material decomposition image)です。物質密度画像では物質が何の成分でできているかの定量解析を可能とします。例えば尿管結石のような構成物質で治療方法が変わるような場合、今まではCT 検査では結石の有無のみを指摘していましたが、GSI を用いることで、定量解析を行いその後の治療方針決定のための一助となる可能性があります。



〔図5：実効原子番号による尿管結石の成分分析〕

### 最後にCT 室からのお願い

当院のCT 検査は予約制ですが、緊急検査の有無、混雑状況、患者様の検査状況により、予約時間通りに検査ができない場合があります。出来る限り予約時間での検査施行に努めておりますが、検査開始時間が遅れる場合がありますのでご了承ください。また、当日予約外のCT 検査につきましては、予約患者様の合間にて検査を行いますので、お待たせする時間が長くなる事がありますので予めご了承ください。

## 第8回登録医連絡協議会

経営企画室長 山崎 悦伸

平成31年2月13日（水）に、第8回となります『国立病院機構相模原病院 登録医連絡協議会』を開催致しました。

当院は、平成23年9月30日付にて地域医療支援病院に承認され、早くも7年の月日が経過致しました。7年の永きに渡り、地域医療機関の先生方からの多大なご高配・ご協力を賜り、地域医療支援病院として運営することができましたこと、心より感謝致しております。

現在 医科377名、歯科68名、合計445名の先生方に登録医として、登録頂いております。地域の先生方から格別なご高配を賜り、地域医療支援病院としてその役割を果たすよう努めて参りました。



竹村相模原市医師会長のご挨拶

当日の協議会では、最初に相模原市医師会長竹村先生にご挨拶を頂きました。その後、職員講演では、谷口臨床研究センター長、海老澤副臨床研究センター長及び松井副リウマチ性疾患研究部長より『臨床研究センターの近状』、平田統括診療部長より『救急診療の取組』、瀧川地域医療・情報部長より『さがみサクラねっと（医療情報ICT）の現状と今後の展望』について、今般の当院の取組について、報告致しました。



発表をする平田統括診療部長

この協議会は、日頃お世話になっている登録医の先生方と、直接意見交換ができる貴重な機会となっております。地域の先生方からのご意見、ご指導を踏まえ、地域医療連携の発展のために取り組んでいきたいと考えております。ご多忙中のところ、院外より126名の皆様にご参加頂きましたこと、職員一同、心より感謝致しております。ありがとうございました。

協議会後は、ささやかではございますが懇親会を開催致しました。始めに北里大学病院長岩村先生にご挨拶を頂きました。その後、相模原市病院協会会長土屋先生に乾杯のご発声を賜り、一気に会場は活性致しました。地域の皆様と、とても有意義な時間を共に過ごすことができました。来年は、2月12日（水）に開催致しますので、どうぞ、よろしくお願い申し上げます。



岩村北里大学病院長のご挨拶

**連載**

**近隣協力医療施設の紹介コーナー**  
**相模原市 南区**  
**「小児科内科 緒方医院」**

院長 **緒方 孝平 先生**  
 副院長 **緒方 昌平 先生**

当院は、南区新磯野で開院している小児科・内科クリニックです。1979年開院以来、地域の方々に支えられ40年間新磯野周辺地区の医療に携わってきました。相模原病院の皆様には開院当初より病診連携を密にとらせていただき、急患の受け入れや、精密検査が必要な際の応需など、いつも迅速かつ快くお受けいただいております。この場をお借りして心より感謝申し上げます。

当院は赤ちゃんからお年寄りまで幅広い年齢の方の診療を行っているファミリークリニックです。長年地域に根差し、気軽に受診できる診療所を目指して参りました。年齢、環境により病気・生活状況は異なりますが、それぞれの方の背景を考えて診療を行っていくことを心がけています。開院当初、親として来院された方々が今ではお孫さんを連れて来院されます。この歴史は「それぞれの方の背景を考えた診療」を提供するにあたり貴重な財産となっています。これまでの歴史を大切に、今後も個々の患者様の背景にあった医療を提供していきたいと考えています。



また、かかりつけ医としての確に緊急性・重症度を判別し、早い段階で近隣の高度医療機関に紹介するよう心がけています。私自身、北里大学病院小児科で長年、小児疾患全般、免疫・感染症・アレルギー疾患を専門に従事し、その間、皮膚科診療や救命救急センター指導医としても経験させていただきました。また、40年間で培った相模原病院を始めとする近隣病院との密な地域連携があります。これらの病診連携を大切に、地域を一つの総合病院と捉えた地域医療システムを提供していきます。

40年間で医学・医療・福祉だけでなく、社会・文化・価値観も大きく変化しました。令和元年を迎え、今後40年も大きな変貌を遂げると思います。今後も、これまで地域に支えられた貴重な財産を活かし、時代の変化に合ったより良いプライマリケア医療を地域の皆様に提供できるよう貢献していきたいと考えています。（筆：緒方 昌平）

**【小児科内科 緒方医院】**

医師：院長 緒方 孝平、副院長 緒方 昌平  
 診療科：小児科、内科

受付時間	月	火	水	木	金	土
08:50～11:50	●	●	●	-	●	●
14:50～17:50	●	●	●	-	●	-

休診日：木曜、土曜午後、日曜、祝日

電話：046-254-0833

HP アドレス：<http://clinic-ogata.net/naika.html>

住所：〒252-0325

神奈川県相模原市南区新磯野1-43-16



**連載**

**近隣協力医療施設の紹介コーナー**

相模原市 南区  
「眼科 緒方医院」



院長  
緒方 智恵子 先生

当院は、平成30年5月に開院した眼科クリニックで、小児科内科緒方医院に隣接する形で、相武台、新磯野に位置しています。当院スタッフは全員子育て世代の女性で、私自身も3児の子育て中です。北里大学病院在勤中は時短勤務を利用したり非常勤医師として働いてきましたが、仕事と育児の両立に苦慮することもありました。自分なりの働き方の中で、医師として今まで学んできた知識や経験を地域医療に活かしていければと思い開院に至りました。

診療内容は、結膜炎やドライアイ、白内障、緑内障、網膜疾患などの眼科一般診療のほか、経験豊富で専門知識のある視能訓練士による小さなお子様の視機能検査や、斜視・弱視訓練も積極的に行っております。また、近隣の相模原病院、北里大学病院と連携し、精密検査や手術等の処置が必要と判断した場合は、ご案内させて頂いております。



受付時間は15時30分までと限られた時間ではありますが、今後も小児科内科緒方医院と連携し、小さなお子様からご高齢の方まで、目の健康について気軽に相談できるような、地域に密着したかかりつけ医院を目指して努力していきたいと思っております。

どうぞよろしくお祈りいたします。



**【眼科 緒方医院】**

医師：院長 緒方 智恵子

診療科：眼科

受付時間	月	火	水	木	金	土
09:20 ~ 12:00	-	●	●	-	●	●
13:20 ~ 15:30	-	●	●	-	●	-

休診日：月曜、木曜、土曜午後、日曜、祝日

電話：046-259-5503

HP アドレス： <http://clinic-ogata.net/ganka.html>

住所：〒252-0325

神奈川県相模原市南区新磯野1-43-16

